

上野総合市民病院だより



平成27年12月号(通刊第8号)

企画:伊賀市立上野総合市民病院

病院機能再開発センター

発行:伊賀市立上野総合市民病院

『症状緩和にお困りの時はご相談ください』

今や緩和ケアという言葉は誰もが知っています。しかし、その内容については一般市民はもちろんのこと医療従事者ですらきちんと把握している方は少ないように思います。

極端な例かもしれませんが、実際にご家族から「緩和ケアに来たら苦しまずにすぐにあの世に送ってくれる」とか「緩和ケアで入院したら二度と帰れない」などという言葉聞きます。緩和ケアは安楽死をさせるところでもなければ、二度と出られない牢屋でもありません。

世界保健機構による緩和ケアの定義は「生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的問題、心理社会的問題、霊的な問題を早期に発見し、的確な評価と対処(治療・処置)を行うことによって、苦しみを予防し、和らげることで、生活の質を改善するアプローチ」となっています。

一言で言うと「苦痛とを感じるあらゆる症状を取り除き、生活の質を上げる」ということです。死を早めも遅らせもしません。もちろん安楽死もありません。生活の質は病院より住み慣れた自宅の方がよいことが多いので症状が取れたらなるべく早く退院です。二度と帰れないことはありません。

緩和ケアをうまく使うには、苦痛症状があれば病期や抗がん治療の有無に関わらず緩和ケアに相談するという事に尽きると思います。ご相談いただければ患者さんの生活の質を上げることができると思います。また、多くの人にとって病院より望ましいと考える在宅療養での生活の質を上げるためには開業の先生方のお力添えが必要になります。機会がありましたら、患者さんが残された時間を有意義に過ごすために連携をお願いいたします

当院では医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカー、理学療法士などが必要に応じて緩和ケアに当たらせていただきます。緩和ケアに関するご相談は地域医療連携室で承っています。気軽にお声がけください。

外科部長・緩和ケアセンター長 寺邊 政宏



当院は緩和ケア普及啓発事業(オレンジ・バルーン・プロジェクト)に参加しています。

* 伊賀・名張地区 学術講演会を開催しました

11月12日(木)に高松市病院局 塩谷泰一先生にお越しいただき、『病院組織の再生と職員意識の覚醒』と題してご講演いただきました。

全国的に立ち行かなくなる自治体病院が増えている中で、坂出市民病院、徳島県立病院群、高松市民病院の経営を安定化された著名な先生で、「生きがいを実感できる組織風土」の醸成に努められたことが印象的でした。「意識改革」ではなく「意識の覚醒」の大切さ、仕事に心をこめて生きる、仕事で学習し感動して生きる、仕事で自信をつけて生きることの大切さを力説されました。

「個の最適化」から「全体の最適化」を目指すこと、医療はチームワークが大切でサッカーと同じであること、また、自治体病院は理念・ビジョンをしっかりと共有して、住民からも、職員からも、また開設者からも価値を見出していただく必要があることなど、貴重なお話をたくさんいただきました。参加者からは、今後の仕事へ生かして行きたいとの感想も多くいただきました。



* キンサーボード(Cancer Board)の開催について

第7回キンサーボードが12月4日(金)に開催されました。

キンサーボードでは症例検討やレクチャー、地域がん登録の登録状況報告などが行われています。

今回は整形外科部長 佐藤昌良医師より「転移性骨腫瘍」と題してミニレクチャーが行われました。

次回の開催予定は、1月8日(金)15時から(於 2階大会議室)です。

キンサーボードへは他医療機関からのご参加を歓迎いたします。参加ご希望の方は田中基幹副院長までご連絡ください。



* 講演会のお知らせ

医療機関を含め、地域の皆様のご参加も歓迎いたします。

●「伊賀・名張地区がん治療研究会」

12月14日(月) 17:40~19:00 上野総合市民病院 西館1階会議室

【特別講演】

『転移性脳腫瘍は怖くない！ ー最新の転移性脳腫瘍の治療とその理由ー』

社会医療法人 高清会 高井病院

脳神経外科 副部長 ガンマナイフ担当 長友 康 先生

* 三重県立看護大学地域交流センター「第3回公開講座」のご案内

12月19日(土)に三重県立看護大学地域交流センター主催の「第3回公開講座」が同大学で開催されます。

当日は、テレビ会議システムを使用して講義の様子が遠隔配信され、当院でも受講いただけます。多数のご参加をよろしくお願いいたします。

- 日 時 12月19日(土) 14:10~16:00 (受付時間13:30)
- 場 所 上野総合市民病院 本館2階大会議室
- プログラム
 - 第1部 講演「育能力
～メダリストをつくる心と身体のマネジメント～」
講師 小出 義雄 氏
(佐倉アスリート倶楽部株式会社代表取締役)
 - 第2部 対談
小出 義雄 氏 × 村本 淳子
(三重県立看護大学名誉教授)



* SPDシステムを導入しました

当院は平成27年11月より院内物流管理システム(SPD)を導入しました。

SPD(Supply Processing and Distribution)とは、医療現場の要望により的確に医療消耗品等を各部署に供給するシステムです。

SPD導入により消費・在庫管理を一元化することで、物品を適正な量で払出し、死蔵・過剰在庫を解消でき、病院の運営改善を図ると共に保険請求漏れの防止にもつながります。

また、現場の医療スタッフの物品請求・発注業務の軽減により、余力を医療行為や患者サービスの向上に向けることができます。

* 12月より受付手順がかわります *

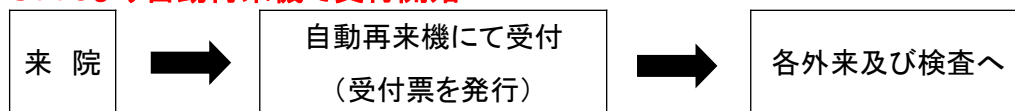
12月1日(火)から自動再来機の受付時間が変わります。

予約票をお持ちの方は8時15分から自動再来機で受付ができます。

初めての方・予約のない方・診察券を忘れた方は、今までどおり番号札を取って、8時30分までお待ち下さい。

《予約のある方》

8:15より自動再来機で受付開始



《初めての方、予約のない方、診察券を忘れた方》

来院されたら番号札を取り8:30までお待ちください

